

## 研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-132	A-169	13-069	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
<b>題名 (原題/訳)</b>			
Impact of family level factors on alcohol drinking in primary school children. 小学校児童の飲酒への家族要因の影響			
<b>執筆者</b>			
Rehorčíková V, Nemcovská E, Sklenářová Z, Kállay A, Kállayová D, Brazinová A, Slaná M.			
<b>掲載誌</b>			
Cent Eur J Public Health. 2013 Dec;21(4):202-6.			
<b>キーワード</b>			<b>PMID</b>
飲酒、小学生、危険因子、親			24592724
<b>要 旨</b>			
<b>目的：</b> スロバキアにおける 8-15 歳の小学校児童の飲酒に影響する要因を明らかにする。			
<b>方法：</b> 研究対象は 28 の小学校の児童である。質問調査による横断調査を行った。男女差を検討すると共に、週あたりの飲酒に関連する要因についてロジスティック回帰分析にて分析した。			
<b>結果：</b> 対象者数は 2,494 人（男子 52%、女子 48%）である。78%は週 1 回未満の飲酒または飲酒歴がなく、22%は週 1 回以上飲酒していた。男子ではビール、ワイン、スピリッツを摂る傾向があった。年齢、性、母の飲酒、父の飲酒、兄弟の飲酒、親の規則、親の管理、親の精神的サポートが児童の飲酒と関連していた。			
<b>結論：</b> 児童の飲酒は予防に焦点を絞ることが重要である。18 歳未満の児童への酒類販売の管理が重要である。			